

事業の概況

■ 経営環境

平成28年度の我が国の経済は、円高進行を受けた企業業績の下振れが懸念されましたが、輸出の持ち直しに加え、雇用・所得環境の改善を背景に国内成長率がプラス成長するなど底堅く推移しました。

こうしたなか、日経平均株価は、年度前半において原油価格の下落や円高進行に加え、英国のEU離脱などを背景に軟調に推移したものの、その後は日銀によるETFの買入増額、米国大統領選後に始まった新政権への期待を背景とする「トランプ相場」を追い風に上昇基調となりました。

円相場は、英国のEU離脱により、一時「安全資産」とされる円を買う動きが加速し、1ドル＝99円台の円高水準をつけましたが、米国大統領選後、米国経済に対する先行き楽観論が高まり、かつ米国長期金利が上昇したことを受け、円安ドル高が一気に進み、一時120円を窺う値動きの荒い展開となりました。

また、日銀のマイナス金利政策の継続により、金利水準は一段と低下し、長期金利の指標である新発10年物国債利回りは一時▲0.3%まで低下したものの、9月の「長短金利操作付き量的・質的金融緩和」の導入により、10年物国債利回りが0%前後に誘導されたことに加え、米国長期金利の上昇につられる格好で、国内の長期金利もプラス圏に浮上しました。

平成29年度は、円安に伴う企業収益の上振れや、人手不足などを背景とした雇用所得環境の改善などが景気下支えとなり、緩やかな回復基調が続く公算であると思われる一方で、中国など新興国経済の減速懸念、欧州での地政学リスクなど、海外発の懸念材料が意識される状況にあります。更に今後、トランプ政権が保護主義的な貿易姿勢を強め、また、期待されている政策の実現可能性にかかる不確実性が高まれば、日本経済にとって大きなリスクになると思われます。

さて、我々系統を取り巻く環境は、大きな変革期にあります。平成28年4月、「農業所得の増大」を最大目標に掲げた改正農協法が施行され、「待ったなしの改革」を迫られるなか、我々はJAバンク自己改革である「農業所得増大と地域活性化に資する踏み込んだ対応」と「JAが営農経済事業に全力投球できる環境整備」、「農業と地域・利用者をつなぐ金融サービスの提供・地域貢献」を着実に実践し、「農業所得の増大」に繋げていくことが求められております。

また、系統金融を取り巻く環境も、少子高齢化や本格的な人口減少時代の到来に加え、マイナス金利政策により利鞘確保が難しいなか、他金融機関との顧客争奪競争は一段と厳しさを増しております。

こうした情勢のもと、平成28年度当会は中期経営計画（平成28年度～平成30年度）の初年度として、基本戦略である「安定的収益還元機能の強化」、「JAバンクえひめ本部機能の強化」および「JAバンク自己改革の実践」に取り組みしました。

「安定的収益還元機能の強化」については、有価証券の計画的な投資に取り組むとともに、地場企業および農業関連法人などへの新規開拓に取り組みしました。

「JAバンクえひめ本部機能の強化」および「JAバンク自己改革の実践」では、農業振興・地域活性化に資する施策として「JAバンクえひめ農業所得増大・地域活性化応援プログラム」のもと農業融資残高の積み上げに取り組むとともに、愛媛県農産物の販路拡大応援として、「笑顔（えがお）あふれる愛媛県物産フェア（東京）」や「JA・JFグループ近畿商談会（大阪）」の開催、海外のバイヤーと直接商談できる「沖縄大交易会」へのJA参加を積極的に支援するなど、安心で安全な愛媛県農産物の情報発信に取り組みしました。

以上のような取り組みの結果、経常利益、当期剰余金ともに事業計画を上回る実績を収めることができました。

業績

平成29年3月末の県下 J A 貯金残高は1兆8,835億円となり、前年同月比841億円増加しました。

J A 貸出金残高は2,928億円となり、前年同月比294億円減少しました。

一方、当会の資金調達、平成29年3月末貯金残高は1兆5,199億円となり、前年同月比1,237億円増加し、平成28年度期中平均残高は1兆4,553億円で、前期比866億円増加しました。

資金運用では、預け金残高は9,864億円となり、前年同月比332億円増加し、期中平均残高は9,632億円で、前期比380億円増加しました。

貸出金残高は886億円となり、前年同月比1億円増加し、期中平均残高は870億円で、前期比45億円減少しました。

有価証券残高は5,087億円となり、前年同月比870億円増加し、期中平均残高は4,431億円で、前期比593億円増加しました。

事業収支では、経常収益は182億9千万円、経常費用は137億9千1百万円となりました。この結果、経常利益は44億9千9百万円で、前期比10億7千6百万円の減益となりました。また、当期剰余金は36億7千2百万円で、前期比7億6千3百万円の減益となりました。

トピックス

● J Aバンクえひめロールプレイング県大会

東京第一ホテル松山にて、「J Aバンクえひめ MA ロールプレイング県大会（平成28年10月27日）」および「J Aバンクえひめ 窓口担当者ロールプレイング県大会（平成28年11月8日）」を開催しました。

今後も、ロールプレイング大会を通して、お客さまによりよいご提案ができるMA・窓口担当者の育成に努めて参ります。



● 年金キャンペーン等

J Aバンクえひめでは、平成28年4月15日～5月31日まで「春の年金花道キャンペーン」を実施しました。

また、J A年金受給者・予約者を対象とした「南こうせつ With フレンズ2017（平成29年3月2日）」を開催しました。

さらに、年金友の会会員向けの会報誌「ゆとりんく」を年2回発行しました。



● 給与振込はＪＡにおまかせキャンペーン

ＪＡバンクえひめでは、全国の給与振込キャンペーンに呼応し、平成29年2月1日～5月31日まで「給与振込はＪＡにおまかせキャンペーン」を実施しました。



● 個人貯金増強キャンペーン

ＪＡバンクえひめでは、県下統一の定期貯金販売期間として、平成28年6月15日～8月31日まで「夏福ふく定期貯金キャンペーン」（金利優遇）、平成28年11月1日～12月30日まで「冬福ふく定期貯金キャンペーン」（金利優遇と県内農畜産物付定期貯金）を実施しました。



● ＪＡ直売所スタンプラリーの開催

ＪＡバンクえひめでは、県内産農産物の消費拡大とＪＡ直売所の魅力を幅広くＰＲするとともに、お客さまにＪＡとのふれあいを感じていただくことを目的として、平成28年4月29日～8月31日まで、県内15ヶ所のＪＡ直売所を対象とした「ＪＡ直売所スタンプラリー」を開催しました。

なお、応募総数4,568通の応募者の中から当選者（350名）を選び、豪華商品をプレゼントしました。



● ＪＡ住宅ローン統一キャンペーン

ＪＡバンクえひめでは、県下統一の住宅ローンキャンペーンとして、平成28年5月9日～平成29年3月31日まで住宅ローンとくとかプランにおける10年固定の当初適用金利からＪＡの取引内容に応じ、最大0.3%の金利引き下げを行う「ＪＡ住宅ローン統一キャンペーン」を実施しました。



● J A住宅ローンで利用感謝訪問の実施

J Aバンクえひめでは、J Aで住宅ローンをご利用いただいているお客さまへ日頃の感謝を伝えるため、県下400名様に抽選でカタログギフトをプレゼントする「J A住宅ローンご利用感謝キャンペーン」を実施しました。



● ライフサポートキャンペーン

J Aバンクえひめでは、県下統一のライフサポートキャンペーンとして、「J A教育ローンキャンペーン（平成28年8月1日～平成29年5月31日まで）」および「J Aマイカーローンキャンペーン（平成28年10月3日～平成29年5月31日まで）」を実施しました。



● J Aバンクえひめ住宅ローン営業担当者会議

ホテルJ A Lシティ松山にて、平成28年11月4日に「J Aバンクえひめ住宅ローン営業担当者会議」を開催しました。

会議では、お客さまへの担当者提案力の向上に向けたグループディスカッションや事例発表が行われました。



● J A経営セミナー

平成28年9月16日に県下J A役員、幹部職員、連合会、系統関連組織の方々を対象にした「J A経営セミナー」を開催しました。

講師には、大和ハウス工業株式会社 代表取締役会長 樋口武男氏を迎え、「先の先を読む経営 創業者 石橋信夫に学ぶ」をテーマに、創業者の思いを引継いだ経営理念について、および多額の負債を計上していた関連会社再建の経営改革などについて講演を行いました。



● J A相続対策セミナー

平成29年2月14日に「J A相続対策セミナー」の第五弾として、県下J A信用事業本所（店）部課長およびスタッフ、支所（店）長等を対象に、(株)経済法令研究会専任講師 清水 暁氏を講師に迎え、『生前対策を中心とした相続対策と相続法制改正動向』を主なテーマとして、相続対策セミナーを開催しました。



● J Aバンクえひめ農業応援セミナー

平成28年7月28日に愛媛県下の農業法人・J A役職員・連合会役職員を対象とした「第2回J Aバンクえひめ農業応援セミナー」を開催し、『販路拡大のための商談対策』をテーマとして講演を行いました。



また、平成29年1月18日に「第3回J Aバンクえひめ農業応援セミナー」を開催し、『第一次産業をデザインする』をテーマとして講演を行いました。



● J Aバンクえひめ地域活性化応援セミナー

平成28年8月8日に20市町の会計担当者・農業法人等・J A役職員等を対象とした「J Aバンクえひめ地域活性化応援セミナー」を開催し、『2025年インバウンド（訪日外国人旅行者）誘客を2倍にする戦略』をテーマとして講演を行いました。



● テレビCMの製作

J Aバンクえひめが食と農業を通じて、愛媛農業の発展に貢献するメッセージを多くの皆さまに伝えるため、CSR用のテレビCMを製作し、「愛媛マラソン」や「元気！えひめ農業」で放映しました。

今回のCMには、『Hug the Farm. Hug the Future.』というタグラインのもと、愛媛農業を支えていくというJ Aバンクえひめの姿勢と、「明るい未来」と「よろこび」を「地域のすべての人々と共に分かち合いたい」という思いを込めています。

